

ウィルタネン彗星

～ あまり見る機会のない彗星を見てみよう ～

久しぶりに明るくなると予想される彗星が現れました。一番明るくなると予想される日と同じ時期にふたご座流星群を見ることができます。めったにない機会ですから、彗星と流れ星、どちらも見てみませんか。

彗星とは

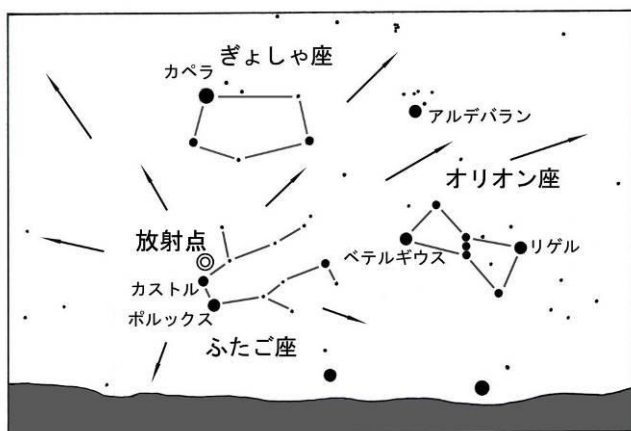


太陽系の天体の仲間で、日本では「ほうき星」と呼ばれています。太陽に近づいたときの彗星はしっぽがのびて「ほうき」のように見えます。

古来から忌(い)まわしきものと言われ、大彗星の出現は天変地異の前触れなどと言われていました。彗星の正体は氷と岩のかたまりで、そのため「汚れた雪玉」と呼ばれています。

ウィルタネン彗星

1948年にカール・ウィルタネンによって発見されました。太陽のまわりを5.4年かけてまわる周期彗星です。12月16日に地球に最接近し、その距離は地球から約1160万kmまで近づきます。この時、明るさは3～4等級と予想されています。16日にはプレアデス星団、23日にはぎょしゃ座のカペラのあたりにあります。来年1月中旬頃まで比較的明るくなって見ると予想されています。



イベント紹介 ～ 宇宙ふしぎ探検 ～

ウィルタネン彗星が大接近し、見ごろとなる同じ時期にふたご座流星群を見ることができます。今年は月明かりがありますが、夜半過ぎまでには月が沈みますので、それ以降は好条件となります。

ウィルタネン彗星とふたご座流星群を観察する「宇宙ふしぎ探検」をおこないます。流星観察と一緒に、普段見ることのない彗星を見てみませんか？

日にち	イベント	その他
12月13日(木)～15日(土) 各日 19:00～20:50	宇宙ふしぎ探検 ふたご座流星群とウィルタネン彗星を観察しよう	雨天曇天中止